

AURA

ワイヤレス・スピーカーシステム

取扱説明書




安全上のご注意


- 使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠ 警告 この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。


⚠ 注意 この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

 **禁止** (してはいけないこと) を示す記号です。

 **分解してはいけないこと** を示す記号です。


 **濡れた手で扱ってはいけないこと** を示す記号です。


 **水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないこと** を示す記号です。

! **指示に基づく行為の強制 (必ず実行していただくこと)** を示す記号です。


⚠ 警告


! **AC アダプタは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。**
万一の場合、AC アダプタを容易に引き抜くためです。

 **付属品以外の電源コードは使用しない。**
火災の原因になることがあります。


 **付属品の AC アダプタを他の機器に転用しない。**
火災の原因になることがあります。


 **船舶などの直流 (DC) 電源には接続しない。**
火災の原因になります。


 **電源コードを束ねた状態で本機を使用しない。**
火災・感電の原因になります。


 **電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。**
電源コードが破損して火災・感電の原因になります。


! **電源コードが破損した場合 (芯線の露出や断線など) には、販売店または弊社東京サービスセンターに交換 (有償) を依頼する。**
そのまま使用すると火災・感電の原因になります。


 **タコ足配線しない。**
発熱により火災・感電の原因になります。

 **テールタップ (延長コード) を使用しない。**
発熱により火災・感電の原因になります。


 **雷が鳴りはじめたら、電源アダプタには触れない。**
感電の原因になります。


 **電源コードの上に重いものをのせたり、電源コードを本機の下敷きしない。**
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。


 **煙が出る場合、異常なおいや音がする場合は、すぐに AC アダプタをコンセントから抜く。**
煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社東京サービスセンターに修理を依頼してください。


 **水道の蛇口付近や風呂場などの濡れている場所や水気が多い場所では使用しない。**
火災・感電の原因になります。


! **本機の内部に水などが入った場合は、AC アダプタをコンセントから抜いて販売店または弊社東京サービスセンターに点検を依頼する。**
そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

 **本機の内部に異物を入れない。**
万一、本機の内部に異物が入った場合は、AC アダプタをコンセントから抜いて販売店または弊社東京サービスセンターに点検をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

 **アルコール・シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しない。**
引火性溶剤が本機内部の電源部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。









 **分解や改造をしない。**
感電の原因になります。

 **調理台や加湿器の近くなど油煙や湯気があたる場所に設置しない。**
火災・感電の原因になることがあります。

 **直射日光があたる場所や、温度が異常に高くなる場所 (暖房機のそばなど) に設置しない。**
キャビネットや内部回路に悪影響が生じ、火災の原因になることがあります。

! **オーディオ機器を接続するときは、それぞれの機器の取扱説明書に従い、指定のケーブルを使用して接続する。**
指定以外のケーブルを使用すると発熱し、やけどの原因になることがあります。

 **注意**

-
-  濡れた手でコンセントを抜き差ししない。
感電の原因になります。
 -  長期間本機を使用しないときは、ACアダプタをコンセントから抜く。
火災・感電の原因になります。
 -  ACアダプタを抜くときは、電源コードを引っばらない。
電源コードが破損して火災・感電の原因になることがあります。
 -  ACアダプタは、コンセントの根元まで確実に差し込む。
ACアダプタを正しく差し込まずに本機を使用すると、火災や感電の原因になります。
-
-  ほこりや湿気の多い場所に設置しない。
ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因となります。
 -  不安定な場所や振動する場所に設置しない。
本機が落下や転倒して、けがの原因となります。
 -  移動するときには電源スイッチを切り、すべての接続を外す。
接続機器が落下や転倒して、けがの原因になります。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。
 -  薬物厳禁
ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また、接点復活剤を使用しない。外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。
-

Bluetooth® に関するご注意

本機は、2.4GHzの周波数帯の電波を利用しています。この周波数の電波は、一般家庭でもいろいろな機器（電子レンジやコードレス電話など）で使用されています。以下のような場所で本機を使用する場合、送信/受信ができなくなることがあります。

- 2.4GHzを利用する無線LAN、また電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害が発生するところ。（環境により電波が届かない場合があります。）
- ラジオから離してお使いください。（ノイズが出る場合があります。）
- テレビにノイズが出た場合、本機（および本機対応製品）がテレビ、ビデオ、BSチューナー、CSチューナーなどのアンテナ入力端子に影響を及ぼしている可能性があります。本機（および本機対応製品）をアンテナ入力端子から遠ざけて設置してください。

⚠ 注意

- 本機の使用によって発生した損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 本機は、全てのBluetooth機器との接続動作を保証するものではありません。
- 弊社ではお客様の接続機器に関する通信エラーや不具合について、一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

安全にお使いいただくために

- 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは使用しない。電子機器に誤動作するなどの影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。
- 航空機内や病院など、使用を禁止された場所では使用しないでください。電子機器や医療用電気機器に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。医療機関などの指示に従ってください。

ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、ペースメーカー、その他医療用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他自動制御機器など。

ペースメーカー、その他医療用電気機器をご使用される方は、該当の各医療用電気機器メーカーまたは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

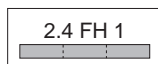
電波法に基づく認証について

本機は電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の行為を行うと法律により罰せられることがあります。

- 本機を分解/改造すること。
- 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと。

周波数について

この無線機器は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFHSS（周波数拡散方式）を採用し、想定される干渉距離は約10mです。



この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、弊社東京サービスセンターにご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談して下さい。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社東京サービスセンターへお問い合わせ下さい。

電波について

- 本機は電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。各国の電波法に抵触する可能性があります。また、本機は、電気通信事業法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。

- 分解/改造すること
- 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと

- 本機は電波を使用しているため、第三者が故意または偶然に傍受することが考えられます。重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。

- 次の場所では本機を使用しないでください。ノイズが出たり、音が途切れて通常のご使用ができないことがあります。

- 2.4GHz用周波数帯域を利用する、電子レンジ、デジタルコードレス電話、Bluetoothなどの機器の近く。
電波が干渉して音が途切れることがあります。
- ラジオ、テレビ、ビデオ、BS/CSチューナーなどのアンテナ入力端子を持つAV機器の近く。
音声や映像にノイズがのることがあります。

目次

安全上のご注意.....	2
Bluetooth® に関するご注意.....	4
電波について.....	4
接続する.....	6
本体背面端子と各デバイスの接続について.....	6
本機の特長.....	7
付属品.....	7
各部の名称.....	8
基本操作.....	9
電源モードについて.....	9
音量を調節する.....	9
ソースを切り換える.....	9
Bluetooth 接続を行う.....	10
ペアリングを行う.....	10
ペアリングを解除する.....	10
Wi-Fi 接続を行う.....	11
再生する.....	13
Bluetooth 再生を行う.....	13
AirPlay/DLNA を使用して再生する.....	14
AirPlay 再生をおこなう.....	14
パソコン（サーバー）から再生する.....	14
マークの点灯パターン.....	15
LED リング点灯パターン.....	16
トラブルシューティング.....	17
主な仕様.....	18
お手入れ.....	19
オンラインご愛用者登録のご案内.....	19
アフターサポート.....	19

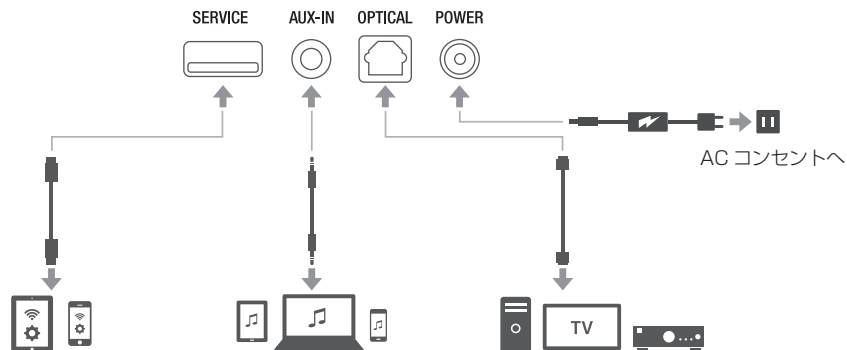
接続する

▶ 本体背面端子と各デバイスの接続について

開梱時のご注意

本機は底面にウーファーを搭載しています。

お買い上げ時、本機は横向きで箱に収納されていますので、箱から取り出す際、ウーファーに手を触れないようご注意ください。



iPhone/iPod/iPad を接続する

iOS Wi-Fi シェアリングを使用して iPhone/iPod/iPad を接続するときに使用します(→ 11 ページ参照)。

オーディオ機器を 接続する

市販の 3.5mm ステレオミニケーブルを使って、オーディオ機器と接続します。

デジタル機器を 接続する

市販の光デジタルケーブルを使って、光デジタル出力に対応している PC やテレビ、オーディオ機器などと接続します。

- 接続用ケーブルは付属していません。
- 光デジタルケーブルのプラグには丸型と角型があります。本機の OPTICAL (光デジタル) 端子は「角型」になりますので、ケーブルをお買い求めの際ご注意ください。

電源を接続する

- ① 付属の AC アダプタと電源ケーブルを接続します。
- ② AC アダプタを、本機の POWER 端子に接続します。
- ③ AC アダプタをコンセントに接続します。

本機は国内外の電圧に対応しています。海外でご使用の際は、お使いになる国のコンセントに合った変換プラグが必要になります。

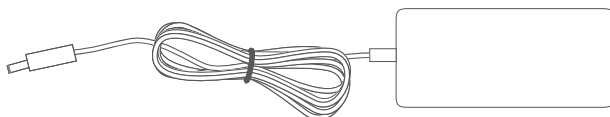
本機の特長

- ◆ 無指向性が生み出すサウンドは、サイズを超えた迫力
6つの1.5インチフルレンジ・ドライバーと、底面の4.5インチのサブウーファーによりクリアな高音と豊かな低音の再現を可能にしながらも、シングルユニットでコンパクトなサイズに収めました。無指向性のオーディオシステムなので、部屋のどこにいても同じ高音質を体感できます。
- ◆ 音楽環境をシームレスに
Bluetooth® や AirPlay®, DLNA® に対応しているので、パソコンやHDDに保存している音楽をWi-Fi経由でワイヤレス再生が可能です。また、スマートホンやタブレット対応のHarman Kardon Remoteアプリ(無料/英語版)をダウンロードすることで、サブウーファーのバランス調整ができるようになります。
(* Harman Kardon Remote アプリは、Appストア、Playストアからダウンロード可能です。無料・英語版)
- ◆ デザイン性豊かなスケルトンボディはインテリアとしても最適
harman/kardon 特有のスケルトンボディで美しいラインが印象的なデザインは、インテリアとしても最適。スケルトンボディの中央に位置するハウジング部分にはLEDが内蔵され、アクションによってリングがさまざまなパターンで点灯します。音量調整は、本体前面の音量マークをスワイプさせることでボリュームをコントロール。外観だけでなく、ひとつひとつの操作もスマートに作りこんでいます。

付属品

お使いになる前に、以下の付属品がすべてそろっていることをご確認ください。

- ACアダプタ



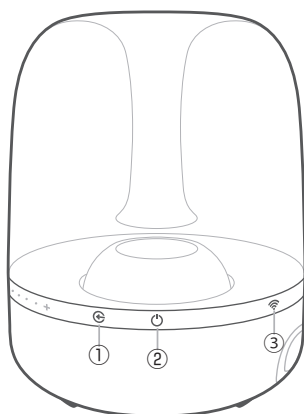
- 電源ケーブル



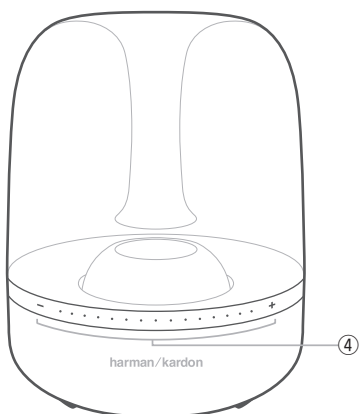
- 日本語取扱説明書(本紙)
- 多言語取扱説明書
- 保証書(日本国内用)

各部の名称

本体前面

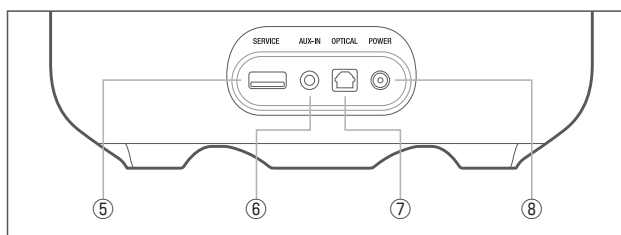


- ① ソース切り換え (Ⓞ) マーク
- ② 電源 (Ⓚ) マーク
- ③ Wi-Fi (📶) マーク



- ④ 音量 (+/-) マーク

本体背面



- ⑤ SERVICE 端子
- ⑥ AUX-IN 端子
- ⑦ OPTICAL 端子
- ⑧ POWER 端子

基本操作

▶ 電源モードについて

本機には以下の電源モードがあります。

- 電源オン
- スタンバイモード
- スリープモード

電源オンのときに電源 (⏻) マークをタッチすると、スタンバイモードになります。

スタンバイモードのときに電源 (⏻) マークをタッチすると、電源オンになります。

電源オンのときに、10分間音声入力がない状態が続くと、スリープモードになります。

スリープモードのときに電源 (⏻) マークをタッチすると、スタンバイモードになります。

Wi-Fi 接続が切断されている状態でスリープモードが30分続くと、スタンバイモードになります。

スリープモードのときにソースの切り替えや音量調整を行うと、自動的に電源オンになります。また、Bluetooth 機器を認識した場合も電源オンになります。

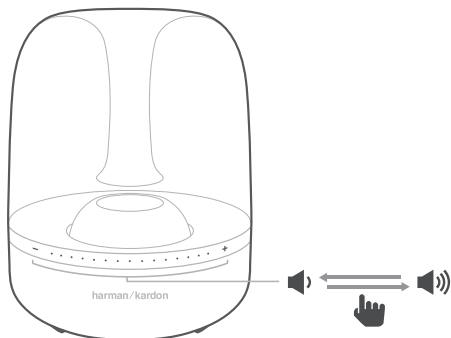


▶ 音量を調節する

音量マークを指でなぞります。

右に向かってなぞると音量が上がリ、左に向かってなぞると音量が下がります。スピーカー部のLEDリングが連動して点灯します。

- 音量 (+ / -) マークを繰り返しタッチして調節することもできます。
- ワイヤレス接続中は、接続しているデバイス上で音量を調節することができます (一部のデバイスのみ対応)。



▶ ソースを切り換える

ソース切り換え (⌂) マークを繰り返しタッチします。

選択されているソースごとに、マークの色が変わります。



Wi-Fi : 緑

AUX (アナログ) : 消灯

Buletooth : 青

OPTICAL (光デジタル) : 白

Bluetooth 接続中にソース切り換え (⌂) マークをタッチし続けると、Bluetooth 接続が解除されます。

Bluetooth 接続を行う

- Bluetooth 機能を使ってワイヤレス再生を行うには、はじめに本機と Bluetooth 対応デバイスを認識させる「ペアリング」が必要となります。
- 本機とデバイスを一度ペアリングすれば、その後に再度ペアリングを行う必要はありません。

▶ ペアリングを行う

以下の手順は一例です。詳細については、接続するデバイスの取扱説明書も合わせてご覧ください。

- ① 電源 (⏻) マークをタッチし続けて、本機の電源を入れる。
- ② ソース切り換え (Ⓜ) マークが青く点滅するまで、ソース切り換え (Ⓜ) マークを繰り返しタッチする。
ペアリング設定状態になります。
- ③ デバイス側でペアリング操作を行い、登録 / 接続する。

iPhone/iPod/iPad の場合 :

- ① iPhone/iPod/iPad をペアリング設定状態にする。
「設定」→「Bluetooth」の順にタップした後、「Bluetooth」を「オフ」から「オン」にします。
Bluetooth に接続できるデバイスの一覧が表示されます。
- ② デバイスから「HK_Aura BT」を選択する。
接続が完了すると、デバイス上で「接続されました」と表示され、本機でピーブ音が鳴ります。

その他のデバイス（携帯電話・スマートフォンなど）の場合 :

- ① ペアリング設定状態にする。
接続するデバイス側で、本機を検出可能な状態にします。お使いのデバイスの取扱説明書も合わせてご覧ください。
(パスキーが必要な場合は「0000」と入力します。)
一部のデバイスでは、接続を確認するメッセージが表示されます。
ソース切り換え (Ⓜ) マークが青く点灯しピーブ音が鳴ると、ペアリングは完了です。

本機は一度ペアリングを行ったデバイスの情報を記憶していますので、ペアリングを行ったあとは、本機の電源を入れ、接続したいデバイスの Bluetooth をオンにするだけで Bluetooth 接続することができます。

▶ ペアリングを解除する

Bluetooth 接続中に、ソース切り換えマーク (Ⓜ) を押し続けます。

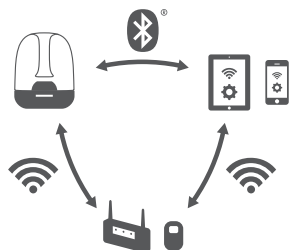
Wi-Fi 接続を行う

本機では、以下の3種類のWi-Fi接続方法があります。

お使いのデバイスに合わせて設定してください。

- iOS ワイヤレス Wi-Fi シェアリング：
iPhone/iPod/iPad を Bluetooth 経由で接続して設定します。
- iOS Wi-Fi シェアリング：iPhone/iPod/iPad を USB ケーブル経由で接続して設定します。
- アドホックモード：パソコンやその他のデバイスと接続して設定します。

iOS ワイヤレス Wi-Fi シェアリング



- 本機⇔ iPhone/iPod/iPad は Bluetooth 接続
- 本機⇔アクセスポイントおよび iPhone/iPod/iPad ⇔アクセスポイントは無線 LAN 接続

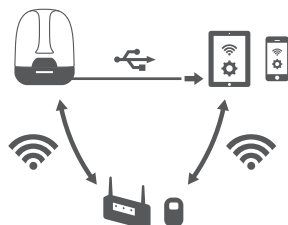
- ① iPhone/iPod/iPad を無線 LAN のアクセスポイントと接続します。
- ② 本機と iPhone/iPod/iPad を Bluetooth 接続します。
- ③ 本機の Wi-Fi (📶) マークをタッチします。
iPhone/iPod/iPad の画面上に「Wi-Fi 設定を共有しますか?」とポップアップ表示されます。
- ④ 「許可」をタップします。

本機と iPhone/iPod/iPad の Wi-Fi 設定が共有され、無線 LAN に接続されます。

接続が完了するまで 30 秒～40 秒程度かかります。

本機が無線 LAN に接続されると、Wi-Fi (📶) マークが点灯し、ピーブ音が鳴ります。

iOS Wi-Fi シェアリング



- 本機⇔ iPhone/iPod/iPad は USB 接続
- 本機⇔アクセスポイントおよび iPhone/iPod/iPad ⇔アクセスポイントは無線 LAN 接続

- ① iPhone/iPod/iPad を無線 LAN のアクセスポイントと接続します。
- ② 本機と iPhone/iPod/iPad を USB ケーブルを使用して接続します。
本機に USB ケーブルは付属していませんので、デバイスに付属のケーブルをお使いください。
- ③ 本機の Wi-Fi (📶) マークをタッチします。
iPhone/iPod/iPad の画面上に「Wi-Fi 設定を共有しますか?」とポップアップ表示されます。
- ④ 「許可」をタップします。

本機と iPhone/iPod/iPad の Wi-Fi 設定が共有され、無線 LAN に接続されます。

接続が完了するまで 30 秒～40 秒程度かかります。

本機が無線 LAN に接続されると、Wi-Fi (📶) マークが点灯し、ピーブ音が鳴ります。

アドホックモード

パソコンやタブレットをお使いの場合、以下の方法で接続を設定します。

設定を行う前に、本機の USB 端子にデバイスが接続されていないことを確認してください。

- ① 本機の Wi-Fi (📶) マークを 5 秒以上タッチします。

Wi-Fi (📶) マークが 2 回点滅し、アドホックモードになります。



- ② お使いのパソコンやタブレットで Wi-Fi 接続設定画面を開きます。
- ③ 接続可能機器の一覧から「HK Aura****」を選択します。

接続が完了するまで、30 秒～40 秒かかります。

- ④ パソコン / タブレットのウェブブラウザを開き、ブラウザのアドレスバーに IP アドレス (192.168.1.1) を入力します。
- 画面上に設定画面が表示されます。

- ⑤ 「Name Your Product (機種名)」欄に製品名 (お好きな名前) を入力し、「Apply (適用)」をクリックします。

- ⑥ 「Choose Your Network (ネットワークの選択)」ドロップダウンメニューから、接続したい Wi-Fi ネットワークの名前を選択します。

- ⑦ ネットワークのパスワードを入力し、「保存」をクリックします。

ネットワーク接続が確立されます。

- お使いのアクセスポイントに応じて、1 分ほど時間がかかる場合があります。

Harman Kardon Remote アプリ (無料 / 英語版) を使用して接続する

お使いのデバイスに Harman Kardon Remote アプリがインストールされている場合、アプリを使用して接続することができます。

Harman Kardon Remote は iOS および Android デバイスに対応しています。

App ストアおよび Play ストアから、「Harman Kardon Remote」で検索してダウンロード / インストールしてください。

- ① デバイス上で HK Remote アイコンをタップして、アプリを起動します。
- ② ホーム画面上の「+」アイコンをタップして、ネットワークに新しいデバイスを追加し、「Harman Kardon Aura」をタップします。
- ③ アプリ上の指示にしたがい設定を行ってください。

ご注意

- 本機はすべての無線 LAN ルーター / アクセスポイントとの接続動作を確認したものではありません。したがって、すべての無線 LAN ルーター / アクセスポイントとの接続は保証できません。
- 医療機器の近くや無線通信機器の使用が禁止されている場所では、無線 LAN 接続しないでください。
- 無線 LAN ルーター / アクセスポイントの仕様や接続方法などの詳細は、無線 LAN ルーター / アクセスポイントの取扱説明書をご確認ください。
- お使いの無線 LAN ルーター / アクセスポイントによっては、WPS に対応していない場合があります。無線 LAN ルーター / アクセスポイントの WPS に関する設定方法については、無線 LAN ルーター / アクセスポイントの取扱説明書をご確認ください。
- 無線 LAN ルーター / アクセスポイントと本機が離れすぎていると、接続ができない場合があります。両機器が離れすぎないようにご注意ください。
- 無線 LAN は周囲の電波の影響を受けます。電子レンジなどの近くでは電波状態が悪い場合がありますので、ご注意ください。
- 無線通信時のデータおよび情報の漏洩につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

再生する

▶ Bluetooth 再生を行う

Bluetooth 再生を行うには、ペアリングを行ったあと本機を再生機器として設定します(10 ページ参照)。

iPhone/iPod/iPad で設定する

- ① iPhone/iPod/iPad 画面を下から上へスワイプする。
- ② アイコンをタップする。
- ③ 「HK_Aura BT」をタップする。

その他のデバイスで設定する

- ① 接続したデバイスで再生を始める。
接続するデバイスによって再生の手順は異なります。詳細については、接続するデバイスの取扱説明書も合わせてご覧ください。

AirPlay/DLNA を使用して再生する

AirPlay について

Apple 社の AirPlay 技術により、Mac/Windows/iPhone/iPod/iPad 内の音楽を、本機でワイヤレス再生できます。

- AirPlay 再生には、iTunes バージョン 10.2 以降 (Mac/Windows パソコン) が必要になります。

DLNA^{*}について

DLNA 技術により、サーバー、ネットワークストレージ (NAS)、パソコンおよびモバイル機器の音楽を、本機でワイヤレス再生できます。

DLNA による再生には以下が必要となります。

- Wi-Fi および DLNA に対応しており、かつネットワーク上に接続されているサーバー、ネットワークストレージ (NAS) プレーヤーあるいはコントローラーとして使用できるデバイス
- Windows Media Player 12 (Windows 7/Windows 8)

Windows Media Player 11 以前の Windows Media Player では再生できません。

※ DLNA とはデジタルリビングネットワークアライアンス (Digital Living Network Alliance) の略で、デジタルコンテンツをネットワークを通じ共有するための企画ガイドラインを策定している非営利団体です。詳しくは、<http://www2.dlna.org/> をご覧ください。

▶ AirPlay 再生をおこなう

iTunes で AirPlay を開始する

- ① iTunes ウィンドウの上部にある AirPlay アイコンをクリックします。
- ② 「HK Aura WF」を選択します。
- ③ 複数の AirPlay 対応機器で同時に再生する場合は、「複数のスピーカー ...」を選択し、再生したい機器を選択します。

iPhone・iPad・iPod touch で AirPlay を開始する

- ① AirPlay アイコンをタップします。
- ② 「HK_Aura XXX」(XXX は任意の文字列) を選択します。

▶ パソコン (サーバー) から再生する

パソコン (サーバー) 内の音楽データ (MP3、WAV、AAC など) を再生します。

その他のサーバーの設定については、各機器やソフトウェアの取扱説明書またはヘルプをご確認ください。

- DLNA に対応した機器 (メディアプレーヤーやゲーム機) から再生することができます。詳しくは、各機器の取扱説明書をご確認ください。

Windows Media Player 12 で再生する

- ① 本機の電源を入れます。
- ② パソコン (サーバー) を起動します。
- ③ Windows Media Player 12 を起動します。
- ④ 再生したい音楽データを選択し、右クリックします。
- ⑤ 右クリックメニューから [リモート再生] → [HK Aura WF] をクリックします。「リモート再生」画面が表示され、再生を開始します。

- 再生できる音楽ファイルは、サーバーに依存します。たとえば、Windows Media Player 12 をお使いの場合、パソコンに入っているすべての音楽ファイルが再生できるわけではなく、Windows Media Player 12 ライブラリに登録されている音楽ファイルのみが再生できます。
- 著作権保護されたファイルは、再生できない場合があります。

ご注意

- 無線 LAN に接続した機器と、本体背面の外部入力端子（AUX-IN および OPTICAL）に接続した機器では、出力の大きさが異なる場合があります。ソース切替の際の音量にご注意ください。
- メディアサーバーの種類によっては、本機を認識できなかったり、サーバーに保存された音楽ファイルを再生できない場合があります。






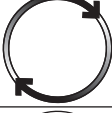


マークの点灯パターン

マークの LED 表示状態により、本機の動作を確認することができます。

マーク	LED 表示	状態
Wi-Fi (📶) マーク	白く点灯	Wi-Fi 接続確立中
	ゆっくりと点滅	Wi-Fi 接続に失敗
	白く速く点滅	Wi-Fi 接続中
	白く 2 回点滅	接続待機中または、iOS デバイスの応答待機中
ソース (Ⓜ) マーク	青く点灯	Bluetooth 接続確立中
	青くゆっくり点滅	ペアリングモード (Bluetooth 接続中)
	白く点灯	OPTICAL 選択中
	緑に点灯	Wi-Fi 選択中
	消灯	AUX-IN 選択中
すべてのマーク	白く点滅	アップデートに失敗

LED リング点灯パターン

本機の動作に応じて、スピーカー部の LED リングの点灯パターンが変化します。

状態	点灯パターン	
起動中		
電源オン	常点灯	
通常再生中	常点灯	
スリープモード	常点灯（通常より暗い）	
スタンバイモード	消灯	
音量調整	操作に応じて回転	
バス音量調整（アプリ上）	操作に応じて回転	
Wi-Fi 接続中	操作に応じて回転し、接続が確立されると常点灯。 接続失敗の場合 4 秒間点滅したあと常点灯	
アドホックモード	操作に応じて回転し、デバイスとの接続が確立されると常点灯	
Wi-Fi シェアリングモード	iOS デバイスからの応答待機中は、時計回りに回転	
アップデート中	アップデートが完了するまで点滅	
アップデート失敗	点滅	

トラブルシューティング

原因	解決法
本機の電源ボタンを押しても電源が入らない。	AC アダプタが正しく接続されているかご確認ください
電源は入るが、音が出ない。	ペアリングされているかご確認ください。
	音量をご確認ください。
	デバイス側の再生が一時停止になっていないかご確認ください。
音が歪む。	音量が上がりがすぎている場合は音量を下げてください。
ペアリングできない。	お手持ちの機器が本機と対応しているかどうかご確認ください。別の機器と接続していないかどうかご確認ください。本機は一度ペアリングを行った機器の情報を記憶しています。音楽を再生したい機器を再接続する場合は、近くのペアリングされている Bluetooth 機器をすべてオフにし、本機の電源を入れ直してください。

主な仕様

最大消費電力	57 W
スピーカー構成	40 mm 径フルレンジドライバー × 6 112 mm 径サブウーファー × 1
システム周波数特性	50 Hz - 20 kHz
アンプ出力	15 W × 2 + 30 W × 1
S/N 比	80dB@15W (フルレンジドライバー)、80dB@30W (サブウーファー)
Bluetooth	Bluetooth3.0
Bluetooth 伝送距離	Class 2 (通信距離約 10m、障害なきこと)
Bluetooth 対応プロファイル	A2DP、AVRCP
無線 LAN	IEEE802.11b/g
無線 LAN 対応プロファイル	IEEE802.11b : DSSS (DBPSK、DQPSK、CC K) IEEE802.11g : OFDM (BPSK、QPSK、16QAM、64QAM)
音声入力	Bluetooth × 1、光デジタル入力 (角型) × 1、外部音声入力 (3.5mm ステレオミニ) × 1
サイズ	高さ : 275 mm × 幅 : 215 mm × 奥行 : 215 mm
重量	2.3 kg

▶ お手入れ

外装の汚れは、乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めた液を少し含ませた布でふき、その後乾いた布でふき取ってください。

▶ オンラインご愛用者登録のご案内

この度は harman/kardon 製品をご購入いただき誠にありがとうございます。弊社では harman/kardon 製品のご購入者を対象に、ホームページ上にてオンラインご愛用者登録を行っております。ご登録いただいたお客様には、サポート情報やキャンペーン情報、新製品情報など harman/kardon 製品の最新情報をお送りいたします。

<https://www.harman-ownersclub.jp>

このアドレスからアクセスしてください。

携帯電話からはご登録できませんのでご注意ください。

▶ アフターサポート

日本国内のアフターサポートに関する情報は、ハーマンインターナショナル株式会社ホームページに掲載しています。

<http://hk.harman-japan.co.jp/support/>

- AirPlay、AirPlay ロゴ、iPhone、iPod、iPod および iTunes は、米国ならびに他の国々で登録された、Apple Inc. の登録商標です。iPad は、Apple Inc. の商標です。
- 「Made for iPod」、「Made for iPhone」および「Made for iPad」とはそれぞれ、iPod、iPhone および iPad 専用に接続するよう設計され、アップル社が定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示しています。
- Bluetooth ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標です。
- Harman International Industries, Incorporated は、これら商標を使用する許可を受けています。
- JBL は米国およびその他の国々における Harman International Industries, Incorporated の登録商標です。
- DLNA[®]、DLNA ロゴおよび DLNA CERTIFIEDTM は、Digital Living Network Alliance の商標、サービスマーク、または認証マークです。
- Microsoft、Windows および Windows Media は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- 「Wi-Fi」は Wi-Fi Alliance の登録商標です。
- Android は、Google Inc. の商標および登録商標です。



harman/kardon
by HARMAN

© 2014 Harman International Japan Co., Ltd. All rights reserved.

0714200